

米田・玉川地区地域農業マスタープラン(実質化された人・農地プラン)

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	作成年月日	直近の更新年月日
野田村	平成24年8月	令和6年1月
対象地区名(地区内の集落名)		
米田・玉川		

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	44.61 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	35.09 ha
③ 地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	9.31 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.92 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・耕作している、していないに関わらず、現状維持の意向が多いが、高齢で後継者未定の農地が多いため、5年～10年後の農地の担い手の確保が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在も中心経営体が水田を集積しており、今後もこの経営体を中心に集積を図っていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

(1) 農地中間管理機構の活用	農業をリタイヤ・経営転換する人や、農地を借りたい人は原則として農地中間管理機構を活用する。
(2) 園芸品目の生産振興	花き、野菜等の園芸作物に取り組む。
(3) 6次産業化への取組	豆腐の加工販売等に取り組む、農業所得の向上や地域の活性化を図る。

5 今後の地域の中心となる経営体の状況

経営体数

個人 3経営体